

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 生活習慣病医療連携推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 健康増進係 電話番号：058-272-1111(内3316)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,392 千円 (前年度予算額： 1,392 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,392	696	0	0	0	0	0	0	696
要求額	1,392	696	0	0	0	0	0	0	696
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県保健医療計画に示す5疾病のうち、がん、脳卒中、急性心筋梗塞に関して、疾病別に病態・病期、関係機関ごとに必要な保健医療福祉機能を明らかにし、地域における切れ目のない医療連携体制を構築することにより、生活習慣病の重症化予防を図る。

さらに、循環器病対策の総合的な推進を図るため、循環器病対策のあり方に関する協議会を開催し、疾病による死亡や国民が介護を要する状態となる主要な原因である脳卒中や心臓病対策のあり方を検討するとともに、R5年度までとなっている現岐阜県循環器病対策推進計画の評価及び次期計画の策定を行う。

(2) 事業内容

- ア 循環器対策推進協議会及び部会（脳卒中・心臓病）の開催（協議会2回/年、部会各2回）
- イ 圏域内の医療連携支援ネットワークの支援
 - ・圏域毎に保健医療福祉関係者で構成する協議会を開催し、課題に対する方策や地域の特性に応じた医療連携体制について協議
 - ・地域連携クリティカルパスの運用状況の情報収集
- ウ 地域医療連携等に関する普及啓発
 - ・保健医療福祉関係者を対象とした地域連携の理解促進、連携パスの普及等に関する研修会
 - ・住民向けの講座、啓発媒体の作成等による啓発、普及の促進

(3) 県負担・補助率の考え方

第7期岐阜県保健医療計画において、医療連携の促進を基本施策としており、県が負担することは妥当である。国庫補助1/2（循環器病特別対策事業）。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	782	委員及び講師報償費
旅費	169	委員及び講師費用弁償、業務旅費
需用費	99	事務消耗品、会議費
役務費	72	電話・郵送代
委託料	200	県民啓発（広報誌掲載等）
使用料及び賃貸料	70	会場使用料
合計	1,392	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第7期岐阜県保健医療計画
- ・第3次ヘルスプランぎふ21
- ・第3次岐阜県がん対策推進計画

(2) 国・他県の状況

国：令和2年10月に循環器病対策基本計画を策定

他県：令和3年度中に都道府県計画を策定

(3) 事業主体及びその妥当性

循環器病対策基本法により、当該都道府県における循環器病対策の推進に関する計画の策定し、循環器病の予防並びに循環器病患者等に対する保健、医療及び福祉に係るサービスの提供を推進することとされている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ・がん、脳卒中、急性心筋梗塞に関して、地域で切れ目のない保健医療福祉等のサービスを受けられるよう、各圏域において医療連携体制の構築を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R3年度 (R1)	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①健康寿命の延伸	男性72.89年 女性75.65年	男性73.08年 女性76.18年	増加	増加	平均寿命の増加 分上回る増加	-
②虚血性疾患に関する年齢調整死亡率の減少	男性30.6 女性11.2	減少	減少	減少	男性26.4 女性10.0	-
③脳血管疾患に関する年齢調整死亡率の減少	男性33.1 女性17.9	減少	減少	減少	男性29.9 女性18.2	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	循環器対策基本法に基づき岐阜県循環器病対策推進計画の策定に向けて要議会設置し、関係者との共通認識を得ることができた。
令和3年度	循環器対策基本法に基づく岐阜県循環器病対策推進計画を策定し、10月に公表した。また、県民への循環器病の理解を促進するため県公式SNS等を通じた啓発を行った。二次医療圏単位の協議会は新型コロナウイルス感染症対応により開催することができなかった。新型コロナウイルス感染症のリスク因子である循環器病について2次医療圏単位の検討の場を持ち体制整備を進める必要がある。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % ※平均寿命が公表前であり、達成率を求めることが困難
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>高齢化の進行に伴い、地域包括ケアシステムの構築が求められており、生活習慣病の重症化予防の観点において、広域的な調整役を県(保健所)が担う必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>各圏域に協議会を設置していることから課題が明確となり、検討の過程を通して、医療機関にも医療連携の必要性が理解されてきているが、県全体の医療連携体制について評価する必要がある。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>岐阜県においては、圏域毎に健康課題、医療提供体制等に特徴があることから、各圏域の実情に応じた施策が必要であり、圏域単位で取り組むことが、効率的で成果が期待できる。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 循環器対策基本法に基づき、循環器病対策推進計画を策定するなど、予防、医療機関の整備、情報の収集・提供など取組を着実に推進する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 第7期岐阜県保健医療計画、第3次ヘルスプランぎふ21計画及び第3次岐阜県がん対策推進計画においては、生活習慣病の重症化予防を目標としているため、今後も継続する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	